




東京都認証 特定非営利活動法人
インターナショナル ネイル アソシエーション

〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7
赤坂レジデンシャルホテル 620号室
Tel/Fax 03-3403-6699

<http://www.i-nail-a.org>

2010.3.1/3000/I-NAIL-A技能検定試験実行委員会発行



ジェルネイル 技能検定試験

3級／2級／1級

試験要項

ジェルネイル技能検定試験

【試験構成】 3級／2級／1級

【受験資格】 3級:なし 2級:3級認定者 1級:2級認定者 ※ステップアップ方式／飛び級無し

【認定基準】 3級:実技試験と学科試験の合格で認定 2級・1級:実技試験のみ合格で認定とする。
3級において実技試験／学科試験どちらかのみが合格した場合、再受験の際は合格科目が受験免除となる。
(免除期間の制限なし)

【受験料】 各級10,500円(3級のみ免除科目があり学科／実技のいずれかのみ受験の場合は7,350円)

学科試験 (3級のみ) 時間30分 マークシート方式

【合格基準】出題50問(1問2点) 40問以上正解(80点以上)で合格とする。

【内容】ネイルの衛生学、人体のしくみ、ネイルとその異常、マニキュアリストの化学、ネイル概論、ネイルの技術※ネイル概論および技術は、ネイルケア／カラーリング／全てのアーティフィシャルネイルに関する出題となる。

【参考テキスト】「ネイル・プロフェッショナル」「ネイル・プロフェッショナル ジェルネイル編」

実技試験

【合格基準】(3級／2級／1級共通)

仕上りのフリーエッジの長さが、手のひら側から見て指先から3mm以上5mm以下(3級は1mm以上5mm以下)で、10本の爪の長さ
と形のバランスが揃っていること。

試験要項に記載された技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。

ジェルネイルの特性を理解した技術が行われ、得点が合格基準に達していること。(100点のうち、80点以上で合格とする。)

【内容】

3級 ネイルケア(事前に済ませておく)、プレパレーション、右手5本のコーティング(クリア)、
左手5本のカラーコーティング(マット赤)

2級 ネイルケア(事前に済ませておく)、プレパレーション、チップオーバーレイ2本(クリアまたはナチュラルチップを使用、
指の指定なし)、カラーコーティング10本(パールホワイト)

1級 ネイルケア(事前に済ませておく)、プレパレーション、スカルプチュア2本(クリア、指の指定なし)、
カラーコーティング10本(ピンクとホワイトのフレンチネイル)

試験に関する失格事項／減点事項 (3級／2級／1級共通)

以下の項目に該当する場合は失格／減点となります。

【失格事項】 実技試験／学科試験共通

- ・受験票を忘れた場合、遅刻した場合。(受験者／モデルとも)
- ・不正行為があった場合。(学科試験／実技試験のカンニング行為含む)
- ・私語などが多く他の受験者に迷惑が及ぶ場合、審査官の指示に従わなかった場合。

【減点事項】 実技試験のみ

- ・受験者が、白衣または白無地の上着(木綿／麻)を着用していない場合。
(衛生的施術の妨げにならないよう、装飾の類が施されていないTシャツのようなものが望ましい。過度な露出も減点となる。)
- ・受験者の頭髮が受験者およびモデルの手指や、器具／材料に触れた場合。
- ・受験者／モデルが指輪やプレスレット等のアクセサリ類をしている場合。
(肘から指先に何も装着しないこと。腕時計は外し、受験票の上に置くこと。)
- ・受験者／モデルの携帯電話がなった場合。(電源は切っておくこと。マナーモードの振動音も減点となる。)
- ・施術が衛生的でない場合。
- ・受験者／モデルの手指を傷つけ、出血させた場合。(出血した場合は救急用具を用いて消毒し、必要であれば止血すること。)

モデルに関する失格事項／減点事項 (3級／2級／1級共通)

以下の項目に該当する場合は失格／減点となります。

【失格事項】

- ・モデルの手指および爪に疾患(カビ爪など)が認められる場合。

【減点事項】 実技試験のみ

- ・10本の爪がナチュラルネイルでない場合。
(亀裂などがある場合、グルー、レジンを使用したリペアのみ可とする。アクリルやジェルでのリペアは不可。グルー、レジンでのリペアが不適切だとみなされた場合も減点となる)
- ・フリーエッジの長さが、手のひら側から見て3mm以上(3級は1mm以上)ない場合。
(ハイポニキウムの中から3mm(1mm)でなくてよい。10本の長さ／形をバランスよく整えておくこと。)
(ただし、2級／1級の試験でチップ／スカルプチュアを施す爪は1mm以下の長さに削っておくこと。)
- ・ルーススキャンやささくれが除去されていない場合。(ジェルネイルを施すために必要かつ適切なネイルケアがされていること。)

器具／材料に関する減点事項 (3級／2級／1級共通)

以下の事項が守れていない場合は減点となります。

【器具／材料例】

器具用消毒液／手指用消毒液／爪用消毒液／UVランプ(時間管理をするタイマー)／ベースジェル／カラージェル／トップジェル／
未硬化ジェル除去剤／エメリーボード類／ウッドスティック／ジェルブラシ／ワイブ*／スパチュラ*／ダスト用ブラシ／
白無地タオル／ゴミ袋(ジッパー付ビニール袋)、ゴミ袋をテーブルに貼るテープ)

ペーパータオル(ジッパー付ビニール袋に入れる。ただし、ペーパータオル以外のものは入れないこと。)

トレイ／救急用具(綿棒、絆創膏など止血に使用するもの、傷用消毒液など)

ウェットステリライザー／ブッシュャー(ストーン状のもの含む)／キューティクルニッパー

2級のみ ネイルチップ／シザー、クリッパー、チップカッターのうち必要なもの／ネイルグルーまたはレジン／スカルプチュアジェル

1級のみ ネイルフォーム／シザー、クリッパーのうち必要なもの／スカルプチュアジェル

【減点事項】

*ワイブ、スポンジ、ペーパー、コットンいずれも可。全て蓋付容器(またはジッパー付ビニール)に入れ、トレイにセッティングすること。
*スパチュラ スパチュラとして爪楊枝の使用可。ただし、皮膚に触れるなど施術に使用しないこと。

・赤字の容器類には内容物を明記したラベルを貼ること。

ベースジェルとトップジェルに同じジェルを使用する場合や、爪用消毒液と未硬化ジェル除去剤に同じ材料を使用する場合などは、
容器に両方のラベルを貼ること。また、プライマーなど上記以外の材料を使用する場合は、容器に内容物を明記したラベルを貼ること。

・青字の器具はウェットステリライザーにセッティングすること。

(ただし、使用後のストーン状のブッシュャーはビニール袋に入れトレイに戻しても可。)

・ブラシクリーナーなど、上記以外の材料をセッティング／使用する場合は、容器に内容物を明記したラベルを貼ること。

*検定試験で使用可能なジェルブランドおよび対応色はホームページに記載されています。検定試験申込前に必ず確認して下さい。

ジェルに関する減点事項 (3級／2級／1級共通)

以下の事項が守れていない場合は減点となります。

- ・アプリケーションで使用するジェルは、同一ブランドのものにすること。
(ただし、同一メーカーでソフトジェル／ハードジェルの併用が可能なものは併用して可。)
- ・試験中、ジェルに温度調整剤を使用することは不可。
- ・刷毛付きジェルの使用は不可。
- ・ミキシングしたカラージェルの使用は不可。
- ・使用中のジェル容器・容器の蓋は、サニタリーエリアに置くこと。

器具／材料の取扱および衛生に関する減点事項 (3級／2級／1級共通)

以下の事項が守れていない場合は減点となります。

【ジェルブラシ】

セッティングの際および施術中、ブラシは筆先が他の道具／材料に触れないよう、また、ダストがかからないよう衛生的に取扱うこと。
施術中のブラシはトレイの中、またはサニタリーエリアに置くこと。

トレイに置く場合は、筆先が他の器具／材料(エメリーボード類など)に触れないようにする。

サニタリーエリアに置く場合は、ペーパータオルに筆先が直接触れないようにする。

ブラシの筆先を拭く際は、衛生的なワイブ類を使用すること。(作業エリア／サニタリーエリアのペーパータオルで拭くことは不可。)

【ワイブ】

施術中は容器に蓋をすること。また、取り出したワイブは容器に戻さないこと。

ワイブはサニタリーエリアに置かず、作業エリアで使用すること。

使用するつど衛生的なものを容器から取り出すこと。(作業エリアにワイブを重ねて置いておくことは不可。)

不衛生な(汚れた)ワイブを使用しないこと。また、不衛生な(汚れた)ワイブを作業エリアに放置しないこと。

(汚れたワイブはそのつど破棄し、常に清潔なワイブを使用する。)

【タイマー類】

UVライトに内蔵されたタイマー音は消音しなくて可。それ以外のタイマー類は消音すること。携帯電話のタイマーは使用不可とする。
タイマー類を置く位置に指定はないが(サニタリーエリア、トレイの中は不可)、ダストがかからない位置に置き、衛生的に取り扱うこと。

【UVライト】

使用は1人1台のみとする。UVライトで近隣の受験者の器具／材料を照射しないよう、セッティングや使用の際は角度などに配慮すること。
(審査の都合上、テーブル上のいかなる場所にも囲いをすることは不可。)

*UVランプの電源(コンセント)は受験者1名につき1つ用意してありますが、電源アダプタータイプやコンセント(プラグソケット)が一般的形状と異なる場合は延長コードを持参して下さい。また、電源に変圧器が必要な場合も持参して下さい。(会場での延長コードの貸出はありません。)

【その他】

- ・施術中、使用する全ての器具／材料はトレイまたはサニタリーエリアに置き、UVライトに照射されないよう、また、ダストがかからないようにすること。
- ・その他、上記以外にも、器具／材料の取扱が不適切(不衛生)とみなされた場合は減点となるので、器具／材料の取扱、施術は衛生的に行うこと。

テーブルセッティングに関する減点事項 (3級/2級/1級共通) 以下の事項が守れていない場合は減点となります。

- ・テーブルの上には白無地タオルを敷き、利き手側にゴミ袋(ジッパー付ビニール袋)をセッティングすること。
- ・タオルの上には、作業エリア/サニタリーエリア(使用中に器具類を置くエリア)として白無地ペーパータオルをそれぞれ敷くこと。
- ・器具/材料は1つのトレイにのせ、利き手側にセッティングすること。(テーブルに直接置くことは不可)
- ・消毒液は、トレイの所定の位置にセッティングすること。(トレイの中は、消毒液以外の配置に指定なし。)
- ・UVランプは位置は指定しない。
- ・アームレストは白無地タオルで覆うこと。
- ・UVライトをアームレストとして使用する場合、モデルの腕をのせる箇所は白無地タオルで覆うこと。
- ・ペーパータオルを入れたジッパー付ビニール袋はトレイの中、またはトレイの逆側に置く。
- ・器具/材料を落とした場合、ペーパータオルで挟んで拾い破棄し、自分の手を手指消毒した後、技術を再開すること。(器具/材料のうち、破棄できないものは器具用消毒液で消毒してセッティング/使用する。)



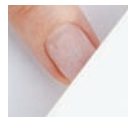
- ・ 消毒方法
テーブルセッティング開始時には、器具用消毒液とペーパータオルを使って消毒する。
ゴミ袋をセッティングする。(テーブルにテープを貼って固定する。)
テーブルを消毒したペーパータオルは、セッティングしたゴミ袋に捨てること。

3級実技試験要項

テーブルセッティング 10分 ※セッティング時間内にモデルチェックを行います。

- ①テーブルを消毒し、実技試験で使用する器具/材料をセッティングする。※要項「テーブルセッティング例」参照
- ・セッティング時間内にUVランプの電源の確認をすること。

プレパレーション 15分



- ① 自分の手指、次にモデルの手指を手指用消毒液で消毒する。(アトマイザーの直接噴射可。コットンを使用する場合は、受験者/モデルの手指それぞれに別のコットンを使用すること。)
- ② モデルの爪10本の表面をエッチングし、手指/爪についたダストを除去する。
- ③ 作業エリア/サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

【注意事項/減点事項】

- ・使用するジェルに適したエメリーボード(グリッド)でエッチングすること。
- ・ルーススキン、ささくれなどがある場合は処理すること。

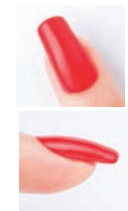
アプリケーション 45分



- ① モデルの爪を爪用消毒液で消毒する。
- ② モデルの右手の爪5本をベースコーティング、トップコーティングする。モデルの左手の爪5本を、ベースコーティング、カラーコーティング、トップコーティングする。 ※使用するジェルが完全に硬化する時間UVランプに照射すること。
- ③ 未硬化ジェルを除去する。

【注意事項/減点事項】

- ・ベースジェル/トップジェルはクリア、カラージェルはマット赤を使用すること。
マット赤 ブランドごとの検定試験対応の色番
ibd: (ハード) エレクトリックレッド(ソフト) パッション AKZENTZ:003クラシックレッド Calgel:18トゥールレッド
CHRISTRIO: (ハード) 29レッド(ソフト) 270レッド Bio Sculpture Gel:19ピラーボックス
(上記ブランド以外のジェルを使用する場合は、上記の色の色味、質感に準じたものを使用すること。)
- ・ベースコーティング/トップコーティングはそれぞれ1コート、カラーコーティングは2コートとする。
- ・施術する手指の順番に指定はないが、UVライトに照射する時間を考慮した上、効率的な施術をすること。
- ・タイマーを使用し、UVライトに照射する時間の管理をすること。UVライトに照射する時間、タイミングの指定はないが、塗布したジェルが十分に硬化する時間UVライトに照射すること。
- ・アプリケーション中のエメリーボード、バッファー類の使用は不可とする。
- ・仕上がり後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。



【審査ポイント】

- ・モデルの爪に、ジェルネイルを施すに適したネイルケアが施されているか。
- ・10本の爪の長さ/形のバランスが整っているか。
- ・プレパレーションを手順どおり衛生的に行い、時間内で適切に仕上げているか。
- ・アプリケーションを手順どおり衛生的に行い、時間内で適切に仕上げているか。
- ・仕上がったジェルネイルの厚さが適切で、縮みやムラ、凹凸がないか。
- ・皮膚にジェルがついていないか。
- ・表面の光沢がくすんでいないか。(未硬化ジェルの除去が適切にできているか。)

2級実技試験要項

テーブルセッティング 10分 ※セッティング時間内にモデルチェックを行います。

- ①テーブルを消毒し、実技試験で使用する器具/材料をセッティングする。※要項「テーブルセッティング例」参照
- ・セッティング時間内にUVランプの電源の確認をすること。

プレパレーション 10分



- ① 自分の手指、次にモデルの手指を手指用消毒液で消毒する。(アトマイザーの直接噴射可。コットンを使用する場合は、受験者/モデルの手指それぞれに別のコットンを使用すること。)
- ② モデルの爪10本の表面をエッチングし、手指/爪についたダストを除去する。
- ③ 作業エリア/サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

【注意事項/減点事項】

- ・使用するジェルに適したエメリーボード(グリッド)でエッチングすること。
- ・ルーススキン、ささくれなどがある場合は処理すること。

アプリケーション-1 20分



- ① モデルの爪を爪用消毒液で消毒する。
- ② チップオーバーレイ(2本)を施す。 ※使用するジェルが完全に硬化する時間UVライトに照射し、完全に仕上げること。 ※未硬化ジェルは必ず除去すること。
- ③ 作業エリア/サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

..... 審査・採点

アプリケーション-2 45分



- ① モデルの爪を爪用消毒液で消毒する。 チップオーバーレイを施した爪を、カラーコーティングできる状態にする。(エッチングなど。)
- ② モデルの爪左右10本をベースコーティング、カラーコーティング、トップコーティングする。 ※使用するジェルが完全に硬化する時間UVライトに照射すること。
- ③ 未硬化ジェルを除去する。

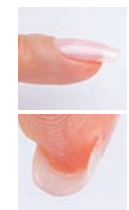
..... 審査・採点

【注意事項/減点事項】

- ・ベースジェル/トップジェルはクリア、カラージェルはパールホワイトを使用すること。
パールホワイト ブランドごとの検定試験対応の色番
ibd: (ソフト) アンスポークモーメンツ AKZENTZ:014サテンパール Calgel:49ジェルホワイト
CHRISTRIO: (ハード) 9ジャンパン Bio Sculpture Gel:2001シルキーサテン
(上記ブランド以外のジェルを使用する場合は、上記の色の色味、質感に準じたものを使用すること。)
- ・ベースコーティング/トップコーティングはそれぞれ1コート、カラーコーティングは2コートとする。
- ・施術する手指の順番に指定はないが、UVライトに照射する時間を考慮した上、効率的な施術をすること。
- ・タイマーを使用し、UVライトに照射する時間の管理をすること。UVライトに照射する時間、タイミングの指定はないが、塗布したジェルが十分に硬化する時間UVライトに照射すること。
- ・エメリーボード/バッファー類を使用する際は、作業エリアを衛生的に保ち、器具/材料にダストがかからないよう注意すること。また、手指にダストが残らないよう注意すること。
- ・仕上がり後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。

【チップオーバーレイの注意/減点事項】

- ・チップオーバーレイを施す手指の指定はないが、ナチュラルネイルのフリーエッジの長さが1mm以下であること。
- ・モデルの爪に適したナチュラルまたはクリアのチップを使用すること。(事前加工したチップのセッティング/使用不可。)
- ・チップのウェルの指定はないが、モデルの爪に合ったものを使用し、ネイルプレートの1/2以上を覆わないこと。
- ・チップ装着後は、滑らかにブレンディングしてからジェルを塗布すること。
- ・ジェルはベースジェル、スカルプチュアジェルいずれかのクリアを使用すること。



【審査ポイント】

- ・モデルの爪に、ジェルネイルを施すに適したネイルケアが施されているか。
- ・10本の爪の長さ/形のバランスが整っているか。
- ・プレパレーションを手順どおり衛生的に行い、時間内で適切に仕上げているか。
- ・アプリケーションを手順どおり衛生的に行い、時間内で適切に仕上げているか。
- ・仕上がったジェルネイルの厚さが適切で縮みやムラ、凹凸がないか。皮膚にジェルがついていないか。
- ・表面は滑らかで、光沢がくすんでいないか。(未硬化ジェルの除去が適切にできているか。)
- ・チップオーバーレイのサイド(ストレスポイント)が適切に覆われているか、適切な厚さ(ハイポイントの位置)に仕上げているか。また、他の爪とバランスよく仕上げているか。
- ・フリーエッジの裏にジェルが流れていないか。

1級実技試験要項

テーブルセッティング 10分 ※セッティング時間内にモデルチェックを行います。

- ① テーブルを消毒し、実技試験で使用する器具／材料をセッティングする。※要項「テーブルセッティング例」参照
- ・セッティング時間内にUVランプの電源の確認をすること。

プレパレーション 10分



- ① 自分の手指、次にモデルの手指を手指用消毒液で消毒する。
(アトマイザーの直接噴射可。コットンを使用する場合は、
受験者／モデルの手指それぞれに別のコットンを使用すること。)
- ② モデルの爪10本の表面をエッチングし、手指／爪についたダストを除去する。
- ③ 作業エリア／サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。----- 審査・採点

- 【注意事項／減点事項】**
- ・使用するジェルに適したエメリーボード(グリット)でエッチングすること。
 - ・ルーススキン、さざくれなどがある場合は処理すること。

アプリケーション-1 20分



- ① モデルの爪を爪用消毒液で消毒する。
- ② スカルプチュア(2本)を施す。
※使用するジェルが完全に硬化する時間UVライトに照射し、完全に仕上げること。
※未硬化ジェルは必ず除去すること。
- ③ 作業エリア／サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。----- 審査・採点

アプリケーション-2 60分



- ① モデルの爪を爪用消毒液で消毒する。
スカルプチュアを施した爪を、カラーコーティングできる状態にする。(エッチングなど。)
- ② モデルの爪左右10本をベースコーティング、カラーコーティング(フレンチネイル)、トップコーティングする。
※使用するジェルが完全に硬化する時間UVライトに照射すること。
- ③ 未硬化ジェルを除去する。----- 審査・採点

- 【注意事項／減点事項】**
- ・ベースジェル/トップジェルはクリアを使用すること。
 - ・ベースコーティング/トップコーティングはそれぞれ1コート、カラーコーティング(フレンチのピンクとホワイト)は2コートとする。
 - ・施術する手指の順番に指定はないが、UVライトに照射する時間を考慮した上、効率的な施術をすること。
 - ・タイマーを使用し、UVライトに照射する時間の管理をすること。UVライトに照射する時間、タイミングの指定はないが、塗布したジェルが十分に硬化する時間UVライトに照射すること。
 - ・エメリーボード/バッファー類を使用する際は、作業エリアを衛生的に保ち、材料にダストがかからないよう注意すること。
 - また、手指にダストが残らないよう注意すること。
 - ・仕上り後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。

- 【スカルプチュアの注意／減点事項】**
- ・スカルプチュアを施す手指の指定はないが、ナチュラルネイルのフリーエッジの長さが1mm以下であること。
 - ・ジェルはベースジェル、スカルプチュアジェルいずれかのクリアを使用すること。

- 【フレンチの注意／減点事項】**
- ・ピンクとホワイトのカラージェルを使用すること。
フレンチ ブランドごとの検定試験対応の色番
ibd: (ハード) エクストリームピンク/ウィンターホワイト(ソフト)ドリーミー/ブライトホワイト
AKZENTZ:029プリーティーンピンク/ブライトホワイト Calgel:43ジェルピンク/CWコンペティションホワイト
CHRISTRIO:(ハード) フレンチピンク/フレンチホワイト(ソフト)262ジェルピンク/222スノーホワイト
Bio Sculpture Gel:68ローズ/1フレンチホワイト
(上記ブランド以外のジェルを使用する場合は、上記の色の色味、質感に準じたものを使用すること。)
 - ・ホワイトとピンクが1:3から1:4程度の割合となるよう、モデルの爪にあわせバランスよく仕上げること。
 - ・モデルの爪に適したフレンチラインを、ホワイトの色むらがないよう滑らかに仕上げること。

【審査ポイント】

- ・モデルの爪に、ジェルネイルを施すに適したネイルケアが施されているか。
- ・10本の爪の長さ／形のバランスが整っているか。
- ・プレパレーションを手順どおり衛生的に行い、時間内で適切に仕上げているか。
- ・アプリケーションを手順どおり衛生的に行い、時間内で適切に仕上げているか。
- ・仕上がったジェルネイルの厚さが適切で、縮みやムラ、凹凸がないか。皮膚にジェルがついていないか。
- ・表面は滑らかで、光沢がくすんでいないか。(未硬化ジェルの除去が適切にできているか。)
- ・スカルプチュアのサイド(ストレスポイント)が適切に覆われているか、適切な厚さ(ハイポイントの位置)に仕上げているか。
- また、他の爪とバランスよく仕上げているか。
- ・ホワイトとピンクバランスがよく、色むらのない滑らかなラインのフレンチネイルが、10本の爪に均一に施されているか。
- ・フリーエッジ裏にジェルが流れていないか。

ジェルネイル技能検定試験 申込方法

【講習会申込】

- 受付期間内に、下記の2点をI-NAIL-A事務局に送付して下さい。
- 1.ジェルネイルネイリスベシヤリスト技能検定試験／講習会申込書(必要事項を全て記入。)
 - 2.受講料10,500円分の普通為替(郵便局の窓口で購入。受取人・指定受取人の欄は何も記入しない。)

加盟スクール・加盟サロンで申し込む場合は、各スクール・サロンに直接お問合せ下さい。
ただし受講案内は受講者ではなく、申込先のスクール・サロンへ送付されます。

【試験申込】

- 受付期間内に、下記の3点をI-NAIL-A事務局に送付して下さい。
- 1.ジェルネイル技能検定試験 申込書(必要事項を全て記入。)
 - 2.顔写真1枚(縦30mm×横30mm) (裏面に氏名を明記し、申込書にクリップでとめる。)
 - 3.受験料の普通為替(郵便局の窓口で購入。受取人・指定受取人の欄には何も記入しない。)
- ※受験料は、各級ともに10,500円です。ただし、3級において実技/学科のいずれかのみ受験の場合は7,350円となります。

加盟スクール・加盟サロンで申し込む場合は、各スクール・サロンに直接お問合せ下さい。
ただし受験票/可否通知/認定証は受験者ではなく、申込先のスクール・サロンへ送付されます。

講習会と試験を同時に申し込む場合は、
申込書・顔写真1枚・受験料と受講料分の普通為替を、講習会申込締切日までにI-NAIL-A事務局に送付して下さい。
加盟スクール・加盟サロンで申し込む場合は、各スクール・サロンに直接お問合せ下さい。
ただし受講案内/受験票/可否通知/認定証は受験者ではなく、申込先のスクール・サロンへ送付されます。

受講案内/受験票は、それぞれ実施日の2週間前までに発送します。
講習会/検定試験実施日の10日前になっても受講案内/受験票が届かない場合はI-NAIL-A事務局までご連絡下さい。
検定試験実施日の7日前を過ぎてご連絡いただいても、受験票の再発行はできません。
なお、申込後の日程変更、返金はいかなる場合もできません。ご了承ください。
技能検定試験の可否通知/認定証は、実施日より約1ヶ月後の発送となります。

申込書送付先 〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 赤坂レジデンシャルホテル620
インターナショナルネイルアソシエーション事務局
受付期間内の消印有効 (受付日程はHPでご確認下さい)
申込締切 受験票に明記
時間・会場 I-NAIL-A事務局 03-3403-6699 (平日10:00~17:00受付)
お問合せ ただし、試験内容および可否に関するお問合せは、いかなる場合もお答えできません。

ジェルネイル技能検定試験申込書 ※記入はすべて楷書でお願いします。

氏名(カタカナ)	講習会 申込 級 20 年 月 日() 会場
氏名(漢字)	検定試験 申込 級 20 年 月 日() 会場
氏名(大文字ローマ字) ※認定証に印字されます	3級再受験者で免除科目がある場合は 当てはまる科目に✓を入れてください。 <input type="checkbox"/> 学科 <input type="checkbox"/> 実技
〒 □□□□-□□□□ 住所	2級受験者は3級認定番号を、1級受験者は2級認定番号を明記してください。 [3級認定番号] [2級認定番号] 3- 2-
----- 前回受験より氏名/住所に変更がある場合ご記入ください。 旧氏名	
----- ※マンション・ビル名、部屋番号などの表示も必ず記入してください。	旧住所 〒
電話番号 ()	
スクール/サロン名 実務経験()年	
	使用するジェルブランド

※申込書に記載された個人情報は「個人情報保護法」により保護されています。

事務所使用欄	認定番号 -	受験番号
--------	--------	------